週刊
愛知民報

2022年
11月13日
第2609号

発行所 日本共産党愛知県委員会
〒460-0007　名古屋市中区新栄三丁目12番25号
☎(052) 261-3461（代表）
(052) 251-2925（編集部）　FAX(052) 261-6063
定価　月　400円　郵送料336円　1部　100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）

未来社会を熱く語る日本共産党の山添拓参院議員

日本共産党の山添拓参院議員の話を聞く青年たち＝６日、名古屋市

「青年が社会を変える原動力になる」

山添拓参院議員と語る社会主義・共産主義

日本民主青年同盟（民青）は、11月25日からの第46回全国大会までに年間１５００人、愛知見は年間２００人の同盟員拡大をめざして大奮闘しています。愛知県の民青は10月の拡大目標50人を突破。年間目標まであと49人と迫る中10月末に県代表者会議を開催。「青年が社会を変える原動力になる」など目標達成への決意を固め合いました。民青愛知県委員会とＪＣＰサポーター＠あいちが11月６日に開いた集会「山添拓と語る社会主義・共産主義」でさらに２名の社会人青年が加盟しました。

「山添拓と語る社会主義・共産主義」の感想を紹介します。

◇明瞭わかりやすく、さすがゾエだなと。人に届く言葉が大切。

◇前は資本主義が当たり前だと思っていた。人々がどうすればよく生きられるか考えることが必要。

◇一人ひとりが変えていこうとする気持ちが大切。労働時間を短くするのは、ものすごくいいアイデア。

◇資本主義の次に社会主義に変化していくのはごく自然な流れだと確信になり、今後の活動の勇気をもらいました。社会主義の一番の肝（きも）は「労働時間を減らすこと」

仲間もっと増やしたい

民青県代表者会議の感想を紹介します。

◇青年が社会を変える原動力になると改めて感じた。社会を変える力を持っていることを忘れず前を向いてがんばる。

◇この一年間の民青の前進は目を見張るものだ。いま民青の存在意義を示している。

◇学びと運動を結びつけることができた。政治の実態の大本を知れた。社会を変えられるという展望が見えた。学生班で３人加盟するよう全力尽くしてがんばります。

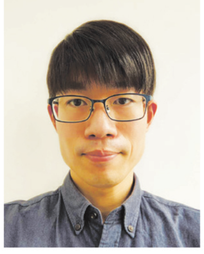
◇あとひとがんばりすれば拡大目標まで達成できると実感した。仲間を増やすことに力を注ぎたい。

◇食料支援ほこほこプロジェクトが、のべ一万人を超えたことはスゴイ。次の支援で残り４人拡大をがんばりたい。

◇10月50人という目標は本当にできるか確信がありませんでした。11月もがんばれば２００人の年間目標は絶対できる。

◇あと49人。達成できる目標。大会後の代表者会議で「達成した」とみんなで喜び合いたい。

社会を変える展望　学びたい
がんばれば拡大目標はできる



日本民主青年同盟
愛知県委員長
古川　大暁

10月末に開いた、県代表者会議での代議員の発言を紹介します。

加盟の思い

第1に、同盟員から「加盟しての思い」が語られました。

「自分の意見を話すのは難しい。民青に加盟してたくさん学ぶ中で、自分の考えを持つことができ話せるようになってきた」「加盟して約1カ月。民青新聞を読んだり班活動に参加しはじめています。とても楽しいのでもっともっと班会をやりたい」など、「民青に加盟して良かった」という思いが発言にあふれていました。

変える展望

第2に、食料支援、参院選などに取り組む中で、困っている青年の生活を支える活動が社会を変える展望と確信につながってきた班活動の変化が実感をこめて語られました。

ある地区役員からは、「これまで班員から『十分活動できてない』という反省の声が出されることが多かった。しかし、最近では『私たちも食料支援や宣伝に踏み出した。結構がんばってきたよね』と語られるようになった」と発言がありました。

青年の願いにこたえる支援や宣伝に足を踏み出しながら、そこで仲間を増やしてきたことが感動的に明らかになった会議でした。

また、毎週班会に取り組む大切さも明らかになりました。地域班の代議員は「生活が苦しくなった時に、班会の近況交流で『苦しい』と話したら親身に相談に乗ってくれて相談窓口につなげてくれた。見た目は元気そうでも大変さを抱えている人はいる。その思いを受け止めるためにも毎週の班会が大切」と発言。自分たちが班会を開いていることが、いかに大切かを実感するものになりました。

拡大したい

第3に、仲間を増やしたいという思いが次々に語られました。

病院職場の代議員は、民青を「知る会」をしたことを振り返り同僚に「民青同盟の紹介をしたら『格差・貧困問題は、自分も気になっていた』と話してくれた。とてもうれしくなった」と加盟の訴えをすることで、自分自身が元気になれたと発言しています。

多くの代議員が感想文に「仲間を増やしたくなった」と書いており、これまでになく同盟拡大への思いが強まる会議となりました。

あと47人の仲間を増やして年間200人の拡大目標の達成のためにがんばります。